

静岡県内企業の想定為替レートに関する動向調査（2024 年度）

企業の想定為替レートは平均 142 円 14 銭

～実勢レートとの乖離が企業業績の回復に水を差す可能性も～

日本銀行は 2024 年 3 月 19 日にマイナス金利の解除および YCC（イールドカーブ・コントロール、長短金利操作）の撤廃などを決定した。17 年ぶりの政策金利の引き上げとなったが、FRB（米連邦準備制度理事会）による金利引き下げの見通しが後退し、日米金利差の縮小期待が先送りされた結果、円安傾向が続いている。円安の継続は、輸入価格の上昇を通じて企業のコスト増加の一因となる一方で、輸出企業を中心に大幅な円安を背景に過去最高益を計上した企業も多い。

企業が業績の見通し等を作成する際にあらかじめ設定（想定）した名目為替レートと、実際の為替レートに大きな乖離が生じた場合には、その乖離が企業の事業遂行に影響を与えるほか、業績を大きく左右することとなる。とりわけ、中小企業の想定為替レートは企業の与信にも影響を与える。

そこで、帝国データバンク静岡支店は、静岡県内企業の設定（想定）為替レートについて調査を実施した。本調査は、TDB 景気動向調査 2024 年 5 月調査とともにを行った。

※ 調査期間は 2024 年 5 月 20 日～5 月 31 日、調査対象は静岡県内企業 781 社で、有効回答企業数は 336 社（回答率 43.0%）。分析対象は想定為替レートを設定している企業 65 社。

※ 本調査における詳細データは景気動向オンライン（<https://www.tdb-di.com>）に掲載している

外国為替レートの推移



注1: 2024年6月は、1日～18日17時時点の平均
 注2: 日本銀行「外国為替市況」より帝国データバンク作成

調査結果（要旨）

1. 想定為替レートは平均 1 ドル＝142.14 円、昨年の 130.73 円より大幅な円安水準を想定
2. 業界間の想定為替レートの違いは最大 23.50 円差
3. 「直接輸入」だけを行う企業は「静岡」全体より 5.53 円の円安水準を想定

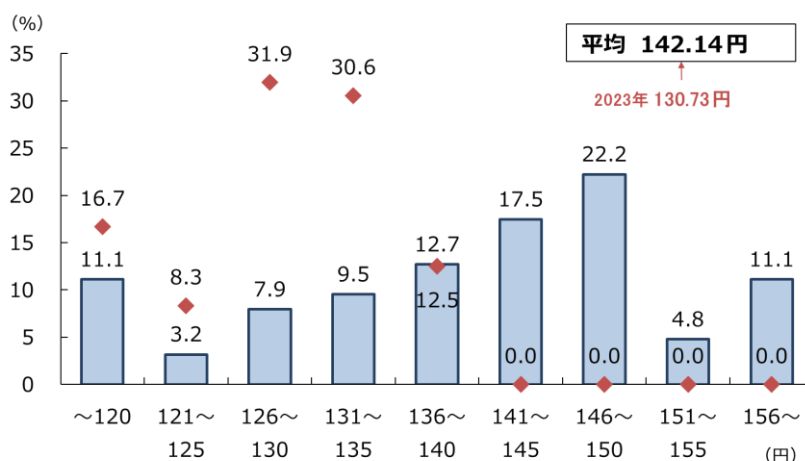
1. 想定為替レートは平均 1 ドル = 142.14 円、昨年の 130.73 円より大幅な円安水準を想定

2024 年 5 月時点での企業の想定為替レートは、平均 1 ドル = 142.14 円（以下、1 米ドル当たりの円レートを示す）となった。前年 4 月の 130.73 円から 11 円 41 銭安と大幅な円安水準を想定していた。

想定為替レートの分布をみると、企業の 22.2% が「146～150 円」を想定し、最も割合が高かった。次いで、「141～145 円」が 17.5%、「136～140 円」が 12.7%、

「～120 円」と「156 円～」が 11.1% でいずれも 10% 台となっており、130 円台後半以上を想定する企業が約 7 割となった。

想定為替レートの分布状況

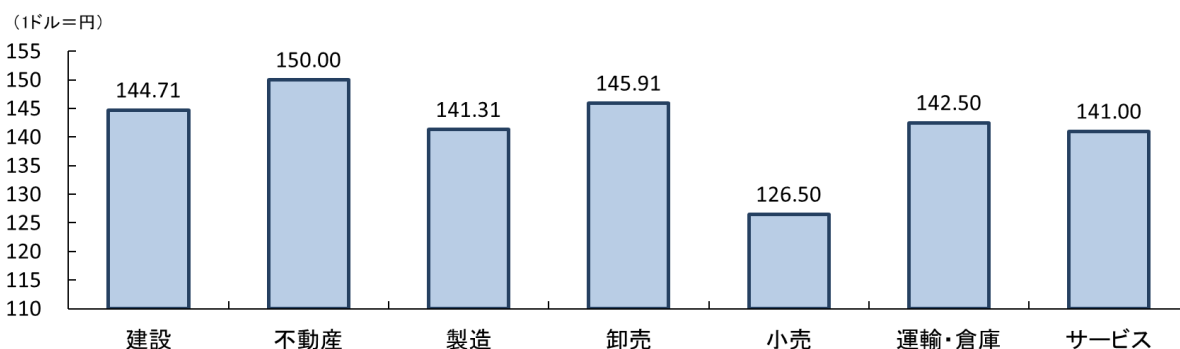


注1: ◆は2023年の想定為替レートに対する分布割合
注2: 母数は想定為替レートを設定している企業 65 社

2. 業界間の想定為替レートの違いは最大 23.50 円差

業界別に想定為替レートをみると、『不動産』が 150.00 円で最も安く想定していた。次いで、『卸売』が 145.91 円、『建設』が 144.71 円、『運輸・倉庫』が 142.50 円、『製造』が 141.31 円、『サービス』が 141.00 円となり、140 円台を想定している一方で、『小売』は 126.50 円にとどまった。

また、最も円安水準の『不動産』と最も円高水準の『小売』の間には 23.50 円の差があった。



3. 「直接輸入」だけを行う企業は「静岡」全体より 5.53 円の円安水準を想定

輸出・輸入別に想定為替レートをみると、事業として直接または間接的に「輸出」を行っている企業では 141.72 円となった。

他方、「輸入」を行っている企業では 141.95 円だった。輸入企業は輸出企業より 0.23 円程度円安の水準を想定している。特に、「直接輸入のみ」(147.67 円)を行っている企業は、「静岡」全体 (142.14 円) よりも 5.53 円円安の水準を想定していた。

規模別では、「大企業」は 143.43 円、「中小企業」は 142.95 円、中小企業のうち「小規模企業」は 139.83 円だった。規模が大きくなるほど、円安を想定する傾向がある。

想定為替レート～輸出入別～ (円)

	想定為替レート
全国	140.88
静岡	142.14
輸出	141.72
直接輸出のみ	147.50
輸入	141.95
直接輸入のみ	147.67

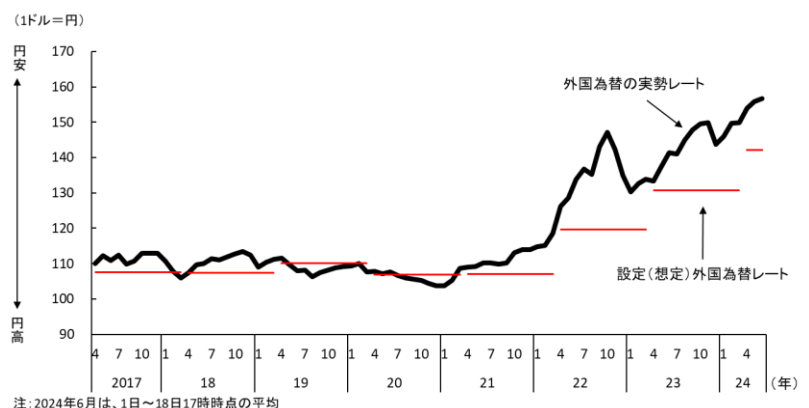
まとめ

本調査によると、静岡全体での 2024 年度の想定為替レートは平均 142 円 14 銭だった。また、直接輸入のみを行う企業は静岡全体より 5.53 円円安水準を想定している。

2017 年以降、実際の外国為替レートと想定レートに大きな差異はなかったが、2021 年後半以降の実勢レートは想定レートよりも大幅に円安の水準が続いている。2024 年には、名目為替レートは年

初から半年で約 10 円も円安が進み、最近では 150 円台後半で推移している。企業が適正と考える為替レートは 1 ドル=110 円台から 120 円台とされる<帝国データバンク「円安に関する企業の影響アンケート (2024 年 5 月)」2024 年 5 月 17 日発表>。そのため、引き続き実勢レートとの乖離による輸入物価を通じた企業収益の悪化を招くリスクに注視する必要がある。

外国為替の実勢レートと想定レート



【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 静岡支店 担当：竹岸 隆浩

TEL:054-254-8301 FAX:054-254-6602

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。